

問1 1871年に実施された廃藩置県によって、地方の統治体制はどのように変化しましたか。その目的と内容として最も適切な説明を選びなさい。

(2026年 青森県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 土地と人民を天皇に返還させることで、旧藩主の領地支配を認めつつ、名目上の全国統一を達成することを目指した。 | 2. 士農工商の身分制度を廃止することで、すべての国民を平等に扱い、国民が自由に職業を選択できる社会の実現を目指した。 | 3. 藩の独立性を高め、各地方が独自の判断で徴税や軍事を行えるようにすることで、地方分権型の国家体制を目指した。 | 4. 旧藩主を地方の責任者から解任し、中央政府から府知事や県知事を派遣することで、強力な中央集権国家の確立を目指した。 |
|--|---|--|---|

問2 1871年に明治政府が実施した「廃藩置県」の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------|-------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 土地の所有権を認め、それに基づき税を徴収するため | 2. 明治政府による中央集権体制を確立するため | 3. 大名が土地と人民を天皇に返還する形式を整えるため | 4. 武士の特権を認め、地方の軍事力を強化するため |
|-----------------------------|-------------------------|-----------------------------|---------------------------|

問3 明治政府は、西洋の進んだ技術を取り入れて国力を高める「殖産興業」の政策を推進しました。その象徴的な出来事として、1872年に日本で最初の鉄道が東京の新橋との間で開通した都市はどこですか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 長崎 | 2. 神戸 | 3. 新潟 | 4. 横浜 |
|-------|-------|-------|-------|

問4 日本における近代国家の形成過程において、立憲制が確立されるまでの歴史的な流れを整理した説明として、正しいものを選んでください。

(2026年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 徴兵令の施行によって国民皆兵が実現した後、教育勅語による天皇中心の教育が徹底され、その成果として大日本帝国憲法が公布されて国会が開設された。 | 2. 大日本帝国憲法が公布されたことを受けて自由民権運動が活発化し、板垣退助らが民権議院設立の建白書を提出した結果、初めての衆議院議員総選挙が実施された。 | 3. 藩閥政治への批判から民権議院設立の建白書が提出され、自由党や立憲改進党が結成された後、大日本帝国憲法が公布され、翌年に第1回衆議院議員総選挙が行われた。 | 4. 第1回衆議院議員総選挙の実施後に、国民の代表による議論を経て大日本帝国憲法が制定され、これに合わせて板垣退助が日本で最初の政党となる自由党を結成した。 |
|---|---|---|--|

問5 19世紀後半のイギリス植民地支配下のインドにおいて、主要な港湾都市と内陸都市を結ぶ鉄道網が急速に整備された主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|--|----------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 大西洋と太平洋を結ぶ最短の交易ルートを確保し、中継貿易を盛んにするため | 2. 南アメリカから輸入した鉄鉱石を内陸部の製鉄所へ輸送するため | 3. 内陸部で生産された綿花を効率よく輸出するとともに、支配を拡大するため | 4. 宗教聖地への巡礼者を運び、各民族の文化的な独立を支援するため |
|--|----------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|

問6 1875年に明治政府がロシアとの間で締結した「樺太・千島交換条約」の内容について、北方の国境をどのように定めたか述べた文として、最も適切なものを選択してください。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 日露和親条約の内容を継承し、樺太を日露両国民の混住の地として改めて定めた。 | 2. 樺太と千島列島の全域を日本の領土として確定させ、ロシアの南下を阻止した。 | 3. 樺太の南半分を日本領とし、得撫島より北の千島列島をロシア領とすることで国境を画定した。 | 4. 樺太全体をロシア領とし、得撫島より北の千島列島を日本領とすることで国境を画定した。 |
|--|---|--|--|

問7 明治政府が地租改正において、税率を「収穫量」ではなく「地価（土地の価格）」に基づき、さらに「現金」で納めさせるようにした最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|
| 1. すべての土地を国有化し、政府が直接農業経営を行うため | 2. 農民の税負担を大幅に軽減し、農業の近代化を促進するため | 3. 天候による豊作や不作に左右されず、政府の収入を安定させるため | 4. 江戸時代から続く身分制度を維持し、武士の特権を守るため |
|-------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|

問8 明治初期の地方統治に関する次の記述のうち、廃藩置県の説明として正しいものはどれですか。 (2024年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 満20歳以上の男子に兵役の義務を課し、近代的な軍隊を組織した。 | 2. 大名が土地と人民を天皇に返還し、自らは知藩事として旧領地を治めた。 | 3. 土地の価格を基準に、地主に対して現金で税を納めさせる制度を確立した。 | 4. 藩を廃止して府や県を設置し、全国を政府が直接支配する仕組みを作った。 |
|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|

問9 明治政府が1873年に公布した、近代的な軍隊をつくるための法令について説明します。この法令は「国民皆兵」を原則としており、満20歳になった男子に対して、それまでの身分に関わらず兵役の義務を課すものでした。この法令の名称として正しいものを選びなさい。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|--------|-----------|--------|
| 1. 治安維持法 | 2. 徴兵令 | 3. 国家総動員法 | 4. 廃刀令 |
|----------|--------|-----------|--------|

問10 明治政府が租税の基準を「収穫高」ではなく「地価」に置き、納税方法を「米」から「現金」に改めた最大の目的は何ですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 土地の売買を禁止することで、特定の地主が広大な土地を持つことを防ぐため。 | 2. 豊凶による税収の増減をなくし、政府が安定した予算を編成できるようにするため。 | 3. 農民の納税にかかる手間を減らし、欧米のような近代的な農業経営を促進するため。 | 4. 農村における米の流通を抑え、工業化に必要な労働力を都市へ移動させるため。 |
|---|---|---|---|

問11 明治政府が地租改正を行い、税の基準をそれまでの「収穫量」から「地価」に変更した最大の目的は何ですか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|
| 1. 江戸時代からの慣習であった物納を継続し、米の流通を守るため | 2. 豊凶にかかわらず、政府が安定した税収を得られるようにするため | 3. 土地の売買を禁止し、すべての土地を政府の直接管理下に置くため | 4. 農民の税負担を大幅に軽減し、生活を安定させるため |
|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|

問12 1868年の鳥羽・伏見の戦いに始まった戊辰戦争は、翌1869年に北海道南端の渡島半島に位置する港町で、旧幕府軍が新政府軍に降伏したことにより終結しました。この最後の戦いを何と呼びますか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|------------|---------|
| 1. 下関戦争 | 2. 箱館戦争 | 3. 第一次長州征伐 | 4. 西南戦争 |
|---------|---------|------------|---------|

問13 1873年に始まった地租改正に対して農民の反対一揆が激化したことを受け、1877年に政府が実施した負担軽減策はどれですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| 1. 地価の算定をやり直し、土地の評価額を半分にした | 2. 地租の納税義務を土地の所有者から耕作者に変更した | 3. 地租の税率を地価の3%から2.5%に引き下げた | 4. 地租の納入方法を貨幣から再び米による物納に戻した |
|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 旧藩主を地方の責任者から解任し、中央政府から府知事や県知事を派遣することで、強力な中央集権国家の確立を目指した。	廃藩置県の特徴は、地方の世襲的な支配者であった旧藩主（知藩事）を免職し、代わりに明治政府の指示に従う官僚（府知事・県知事）を東京から派遣した点にあります。これにより、政府の命令が全国に行き渡るようになり、近代的な中央集権国家としての基盤が固まりました。
問2	答え 2 明治政府による中央集権体制を確立するため	明治政府は当初、大名に土地と人民を返させた「版籍奉還」を行いましたが、実際には旧藩主がそのまま地方を治めていたため、政府の命令が全国に届きにくい状況でした。そこで藩を完全に廃止して府や県を置き、中央政府から官吏を派遣することで、全国を直接支配する中央集権化を図りました。
問3	答え 4 横浜	明治政府は近代化を急ぐため、イギリスの技術や資金を導入して鉄道の建設を行いました。1872年（明治5年）に新橋・横浜間で日本初の鉄道が営業を開始したことは、人々の生活や意識が西洋風に変化する「文明開化」を象徴する出来事となりました。横浜は当時、海外への玄関口となる開港場として重要な役割を担っていました。
問4	答え 3 藩閥政治への批判から民撰議院設立の建白書が提出され、自由党や立憲改進黨が結成された後、大日本帝国憲法が公布され、翌年に第1回衆議院議員総選挙が行われた。	日本の議会政治は、1874年の民撰議院設立の建白書による自由民権運動の開始、1880年代の政党結成、1889年の憲法発布、そして1890年の総選挙と国会開設という順序で進展しました。憲法は国民が選んだ代表が作ったのではなく、天皇が定めて国民に与える「欽定憲法」の形式をとっていたことも重要な特徴です。
問5	答え 3 内陸部で生産された綿花を効率よく輸出するとともに、支配を拡大するため	イギリスは産業革命を経て、自国の繊維工業に欠かせない原料である綿花の供給源としてインドを重視しました。鉄道を整備することで、内陸部で栽培された綿花を輸出拠点となる港湾都市へ迅速に運び出す仕組みを作りました。また、1857年に起きたインド大反乱（セポイの乱）を鎮圧した経験から、軍隊を迅速に移動させ、広大な内陸部をより強固に支配・管理する狙いもありました。
問6	答え 4 樺太全体をロシア領とし、得撫島より北の千島列島を日本領とすることで国境を画定した。	明治政府は、日本とロシアの国民が混住していた樺太（サハリン）での紛争を避けるため、国境を明確にする交渉を行いました。その結果、樺太の権益をすべてロシアに譲る代わりに、それまでロシア領であった得撫島（ウルップ島）以北の千島列島を日本領とすることで、北東アジアにおける領土の範囲を確定させました。
問7	答え 3 天候による豊作や不作に左右されず、政府の収入を安定させるため	江戸時代の年貢は収穫された米の量に応じて納められていたため、凶作の年には政府の収入が激減するという不安定さがありました。地租改正によって、土地の価格を基準とした定額の現金を納めさせる仕組みに変えたことで、天候に関わらず毎年一定の予算を確保することが可能になりました。
問8	答え 4 藩を廃止して府や県を設置し、全国を政府が直接支配する仕組みを作った。	1869年の版籍奉還では旧藩主の統治権が形式的に天皇へ返されましたが、1871年の廃藩置県ではさらに踏み込んで藩そのものを廃止しました。これにより、全国が「府」と「県」に再編され、明治政府による統一的な統治が可能となりました。他の選択肢は、版籍奉還、地租改正、徴兵令に関する記述です。
問9	答え 2 徴兵令	明治時代、政府は富国強兵を推し進めるために軍制の改革を行いました。それまでの江戸時代では、戦うことは武士という特定の身分にのみ許された特権であり義務でしたが、この法令によって身分を問わずすべての男子が国民として兵役を担う「国民皆兵」の仕組みが整えられました。
問10	答え 2 豊凶による税収の増減をなくし、政府が安定した予算を編成できるようにするため。	江戸時代の年貢制度は、その年の収穫量に応じて納める額が決まる「検見法」などが主流であり、不作の年には政府（幕府や藩）の収入が激減するという欠点がありました。近代国家を目指す明治政府にとって、軍隊の整備や殖産興業を推進するためには、計画的な予算編成が不可欠でした。収穫量に左右されない「地価」を基準にし、さらに価格変動のある米ではなく「現金」で納めさせることで、確実かつ安定した税収の確保を狙ったのです。
問11	答え 2 豊凶にかかわらず、政府が安定した税収を得られるようにするため	収穫量を基準とする従来の制度では、不作の年に政府の収入が激減し、近代国家の建設に必要な予算が立てにくいという課題がありました。税率を土地の価格（地価）に対して固定し、現金で納めさせることで、政府は毎年の収入を一定に保ち、安定した国家予算を確保しようとしたのです。
問12	答え 2 箱館戦争	戊辰戦争は、京都の鳥羽・伏見の戦いから始まり、江戸城の無血開城、東北での転戦を経て、最終的に北海道の函館（当時は箱館）へと戦いの舞台が移りました。この函館での戦いを箱館戦争と呼び、これにより明治新政府による国内統一が完成しました。
問13	答え 3 地租の税率を地価の3%から2.5%に引き下げた	地租改正による税負担は当初、江戸時代の年貢と変わらないほど重いものでした。これに不満を持った農民たちが各地で大規模な反対一揆を起こしたため、政府は士族の反乱（西南戦争など）への対応も重なっていた時期ということもあり、1877年に税率を地価の3%から2.5%へ引き下げる措置をとりました。